



慈光

第114号

令和6年3月



ひなまつり

編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園

慈光園デイサービスセンター

慈光園中央デイサービスセンター

在宅介護支援センター慈光園

ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷



令和六年度に向けて

社会福祉法人長井福祉会慈光園

園長 皆川善典

新年の幕開け早々、能登半島地震や航空機事故で多難な幕開けとなりました。尊い命、財産を失われた方々に対し心よりお見舞いを申し上げます。

さて、介護事業所における新型コロナ後の影響が未だ癒えず、ご家族様の面会も一部制限するご不便をお掛けしています。施設内の各種行事の開催は従来に近づき、相互交流しながら楽しむ機会が増えました。しかし、「脱コロナ」に関する意識はどうしても一般社会との感覚に隔たりを感じます。我々は、これからもウイルスと共存していくことになる訳で、感染リスクを重んじるあまり、人間が人間らしく生きる大切さを見失うことのないよう心して参ります。

慈光園は令和六年度に創設四十年を迎えます。時の過ぎゆく速さに今さら驚いています。物価高騰、人材枯渇などの課題が山積している昨今、当施設が取り組むべきことの一つとして、業務効率化を図ることです。効率化と同時に、介護の質と生活の質も向上させたいわけです。それを具現化するのがICT（情報通信技術）であり介護ロボットなどの介護テクノロジー導入です。ICTを導入した場合の業務効率化の一例として、「認知症があり、転倒の恐れのあるご利用者への

対応」について記述します。それらの入所者が就寝時間にベッドから離れようとした際、①センサーが反応し、②介護員のインカム（耳に当てる情報通信機器）に連絡が入り、③近くの介護員が対応する。④その状況を近くにある端末に入力し日誌等各種記録に反映される。⑤それらのデータが蓄積され、ご利用者の処遇向上に反映させることができるというものです。センサー感知に始まり、一貫通貫ということでしょうか。ICTを駆使すれば、ご利用者並びに職員双方にとって正に力強い味方となります。

当面この地域では、高齢者人口の大きな変動はありませんが、生産年齢人口が減少するなかで介護人材が極端に少なくなることは明白です。慈光園は、これらの現状課題を乗り越えるには、介護テクノロジー活用と外国人材受入れ強化、この二つを軸に推進して参りたいと考えています。これから、地域から信頼される介護の担い手であり続けるために一層精進して参りますので、何卒皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

介護ロボット・ICT導入について

介護現場における、生産性向上を図るために、法人重要事業である「介護テクノロジー活用の検討」を研修推進委員会が中心となって行ってきました。

特別養護老人ホーム慈光園では、山形県介護ロボット・ICT導入支援事業費補助金をいただき、令和2年度にインカム、令和5年度に介護ソフト及びiPadを導入しました。

介護ロボットやICTを導入したことで、職員の身体的負担や精神的負担の軽減につなげることができました。介護ソフトやiPadの使用方法については、まだまだ見直す点があり、今後、職員とのコミュニケーションをはかり、よりよい使用方法を検討していく必要があると感じております。

来年度の介護保険制度改正では、介護人材不足の中で、更なる介護サービスの質の向上を図るため、処遇改善や生産性向上による職場環境の改善に向けた取組を推進していく必要があります。

介護ロボットやICTの検討を継続し、利用者様へのより良いケアの提供につなげるとともに、職員が働き甲斐を感じる職場を目指していきたいと思っております。



実際iPadを使用してみたの介護員からの意見をお聞きしました。

- ・ペーパーレスにつながり、環境にやさしいと思います。
 - ・その場で食事摂取量、排泄の情報の入力をすることで、入力忘れが減少しました。
- また記録時間削減につながり、利用者と関わる時間が増えたと思います。



クリスマス

白山こども園の園児のみなさんの演奏!! 素敵でした!

夫婦と一緒にメリークリスマス!

サンタさんからプレゼント。中身は何かな?

お正月・もちつき

つきたてのお餅は最高だなあ~

今年も健やかに過ごせますように

「ヨイショ!!」

節分・年祝い

鬼は外!
福は内

おめでとう
ございます

お祝い御前!

4年ぶりに
ご家族様をお招きし、
節分・年祝い行事を
開催しました。

長寿9名、百寿4名、白寿7名、
卒寿8名、米寿16名総勢44名
の方々へ長井市と当法人から御祝
品や花束の贈呈があり、総宮神社
宮司、安部様からご利用者の健康
と益々の長寿を御祈願いただきま
した。

ひな祭り

おいしいなあ

可愛いねえ

大切な命を守るために

当地域には長井盆地西縁断層帯があり、大規模な地震災害が発生する可能性がります。慈光園においても、各種訓練を定期的にも実施し、防災意識の高揚を図っております。一月二十四日、消防本部予防課の職員立会いのもと、火災を想定した訓練を行いました。煙や熱気の拡散を防ぐために各棟に設置されている防火戸を早期に閉鎖することが重要だと再確認しました。初期消火訓練では、新人職員等が消火器や散水栓の放水を行ない、いつでも確実に操作できるようにしています。これからも職員一人ひとりが危機意識を持ち、安全な職場環境を作り、ご利用者の安全確保に努めてまいります。



【令和6年能登半島地震災害義援金】

このたびの令和6年能登半島地震により犠牲になられた方々とご遺族の皆様にご心よりお悔み申し上げます。また被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

当法人では、被災された方々を支援するため、理事並びに職員から義援金を募り、山形新聞長井支社を通じて愛の事業団へ送らせていただきました。一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。



編集後記

今年には例年にならない暖冬で、春の訪れも早いように感じます。皆様体調はいかがでしょうか。

現在、慈光園では外国人介護職員の受入れやICT導入を進めており、さらに令和六年度は介護報酬改定の年となります。著しく変化する環境下で私たちは連携を図りながら、ご利用者への質の高いサービスの提供と働きやすい職場を目指し日々の業務にあたっております。そのような中、来年度、慈光園は創立四十周年を迎えます。職員一人ひとりが気を引き締めつつ、これまで以上にご利用者の笑顔と輝く職員の姿を発信していきたいと思っております。これからもよろしくお祈りいたします。

広報委員

- ◎橋本 恵 ○飯澤 亮平
- 中村 佳苗 後藤めぐみ
- 鈴木 里紗 菅間 薫
- 塚田 静 孫田 貴博
- 大山 真弓 菊地いづみ
- 鈴木 芳子 村上 沙羅